

新運転結成60周年の秋に！ 各地本大会開催！

今年の2月15日に多くの産別、労金、こくみん共済COOP、各種議員、供給先事業所からの参加者の下開催された新運転結成60周年祝賀会を皮切りに労供事業に取り組んできた記念すべき一年を締めくくる秋を迎えた。また今年は、奇しくも連合30周年中央労協70周年、そしてILO結成100周年の記念すべき年でもある。まさに、この1年間の諸活動に加えて60年前の源流に想いを馳せながら、新たな事業と活動に向かうための大会論議が求められる。

今回、秋の連続地本大会の先頭を切って滋賀地本の第23回定期大会が成功裏に終わった。その大会スローガンと大会宣言は、文字通り新運転結成60周年を意識した格調高いものだった。そして、来賓の折井中央執行委員長をはじめ東京、関西地本の執行委員長の連帯挨拶も、今年秋の連続大会を起点として労供事業の拡充、発展に向かう決意と連帯感溢れるものだった。

その基底にある誇りは、供給契約による労供事業によって賃金労働条件の男女間や年齢、国籍において格差のない同一労働同一賃金の働き方を実現してきた自負であり、結成後の情勢変化を関西地本、東京地本として力強く踏襲していくことにもなっている。

そもそも60年前の源流とは、1947年の敗戦直後に成立した職安法が、第44条で(供給先)が(労働者)を直接指揮命令して使用しながら、労働契約を結ばない法的な使用者責任を負わないという労供事業を厳しく禁止した一方で、労働組合だけに許可を与えたことの意味を改めて再評価すべきだということだ。

つまり、企業と労働契約を結んだ社員たちが労働組合を組織するのではなく、労働組合に加入して組合員として供給先で働き、家族と共に生きることを労働組合の特権としたことだ。

実は、昔の大労働局の意見交換、要請をし、各種委員会や中央執行委員会でも労働組合の労供事業の有意義性を訴えてきた。その蓄積をこの秋の大会後から来年に向けて実らせるための方針論議を期待したい。

滋賀地本第23回定期大会開催！

去る9月29日の最終日曜、午前10時から滋賀県琵琶湖畔のアヤハレイクホテルに楠真一郎執行委員長と役員、そして代議員が勢ぞろいして第23回定期大会が開催された。来賓として参加したのが、折井洋之中央委員長(埼



楠真一郎執行委員長

玉地本委員長)を筆頭に太田武二東京地本委員長、白土武裕関西地本委員長、そして黒須明、辻居康伸、川村勝各中央執行委員。

司会の木村孝副委員長から開会と議長選出があり、各種役員選出が議長の提案通り承認されて、楠委員長の挨拶に移った。楠委員長は、まず参加代議員と来賓の皆さんへの感謝の言葉を述べた上で、生コン、一般トラック、馬運車などの滋賀地本の労供状況に触れ、組合員不足による未供給を

補うために過度な就労に協力してきた組合員への慰労と感謝を述べ、今後の組合員の加入促進と労供事業の拡充への決意を語った。

続いて、折井中央委員長と各地本の委員長からは、大会開催のお祝いに加えて、60周年の意義と労供事業法制定や組合員の加入促進と事業拡充のためにも賃金労働条件の改善に向けた取り組み強化を進めていくという力強い連帯の挨拶がなされ、代議員全体の拍手で応えた。

そして、司会から三日月滋賀県知事からのお祝いと連帯のメッセージが読み上げられ、満場の拍手で確認した。以上



新運転滋賀県第23回定期大会

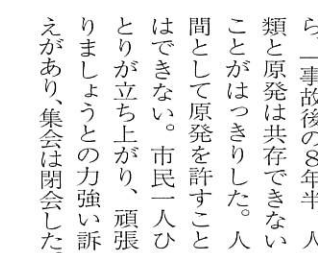
最初に「2020年度活動方針案含む2019年度経過報告と会計報告」について、田中浩書記長から「滋賀地本の生コン・運輸産業の動向、トラック関係の情勢、労働市場の現状と課題、政策・制度要求、労供組合の大同団結、関滋合同委員会、福利厚生を取り組み、教育活動の強化」などについての丁寧な説明があり、馬場浩介会計監査からの報告も含めて質疑案を終了した。

<p>第59回定期大会に関する告示 2019年9月27日 新運転・関西職別労供労働組合 執行委員長 白土 武裕 組合規約第15条、第16条に基づき、 大会代議員を選出する。第59回定期 大会を開催する。</p> <p>記 一、日時 2019年10月27日(日) 午後1時より</p> <p>二、会場 大阪パライサイドホテル 桜ノ宮 大阪パライサイドホテル 三、大会構成 大会代議員、役員 四、議事 2019年度経過報告 財政決算報告 2020年度活動方針 案、予算案、役員選出、その他</p> <p>2019年8月29日 告示 新産別運転者労働組合東京地本本部 執行委員長 太田 武二 組合規約第15条に基づき新産別運 転者労働組合東京地本本部の第64回定 期大会を次の通り開催する。</p> <p>記 一、日時 2019年11月17日(日) 午前10時</p> <p>一、会場 日本教育会館 七階中会議室 東京都千代田区一ツ橋二六六一 電話03(3233)2833 一、大会の構成 役員ならびに大会代議員 一、議事 1、2019年度経過報告、同会 計報告、同会計監査報告 2、2020年度活動方針案、同 予算案 3、役員改選 4、その他 以上</p>	<p>持ってワーク・ライフ・バ ランスを満喫してきたのが 我々の先輩たちだったのだ。 その一方で、最近 1000万人を優に超え るクラウドワーカー、テレ ワーク、フリーランス、個 人事業者などの「曖昧な雇 用関係、雇用類似の働き etc」が大きな問題となっ ている。</p> <p>そこで60周年を迎えた今 年の主要なテーマが、労働 組合の労供事業を、連合を はじめ労働者自主福祉運動 という大きなステージの表 舞台に乗せることだと確認 してきた。</p> <p>去る6月には、新運転中 央本部三役で、衆議員議員、 厚労省の需給調整課、連合 の労働法制担当部局などと の意見交換、要請をし、各 種委員会や中央執行委員会 でも労働組合の労供事業の 有意義性を訴えてきた。そ の蓄積をこの秋の大会後か ら来年に向けて実らせるた めの方針論議を期待したい。</p>
--	---

連合平和行動in根室

今年も連合平和行動の締めくくりとして根室市納沙布岬・望郷の岬公園で開かれた集会には全国から1000名が参加した。

集会冒頭、主催者を代表して相原康伸連合事務局局長は、「戦後74年、元島民の方々も年齢を重ねられてきた。元島民の方々は、『生きていく間に故郷に戻りたい。自由に島に行きたい』という強い想いを、ひと時も忘れたことがない。連合は、引き続き北方四島の返還と日口平和条約の締結が実現するまで取り組みを続けていく」と述べた。続いて、出村良平連合北海道会長から地元歓迎挨拶が行われ、その後、河野太郎外務大臣、宮腰光寛内閣府特命



「さようなら原発全国集会開催！」

去る9月16日、代々木公園で「さようなら原発1千万署名市民の会」主催で開催された集会は、全国各地から8000人が結集し、福島原発事故から8年半がたつ中で「フクシマを忘れない」「脱原発社会の実現」を掲げて多くの貴重訴えがなされた。

主催者を代表して、落合恵子さんから新しい環境大臣への批判の上で「原発ゼロをめざしていきましょう。呼びかけ人の鎌田慧さんから、『事故後の8年半、人類と原発は共存できないことがはつきりした。人間として原発を許すことはできない。市民一人ひとりが立ち上がり、頑張らましようとの力強い訴えがあり、集会は閉会した。

担当大臣からのメッセージをはじめ多くの関係者からの訴えを受けて長崎事務局局長より、平和メッセージが述べられた。その後、出村連合北海道会長から大城連合沖縄会長へ連合ピースフックが手渡され、アピール採択後、北方領土早期返還と日口平和条約締結に向けた「頑張ろう三唱」で終了した。

●最近財政問題、とりわけ消費税の増税に反対する多くの学者や政治家が提唱しているのがMMT(現代貨幣理論)。

●その内容は、自国通貨を発行する政府は高インフレの懸念がなにかぎり財政赤字を心配する必要はないとする。

●企業や家計とは異なり、自国通貨国債が返済不能になることは、理論上あり得ないし、歴史上も例がないという。

●実際、日本の赤字国債が1000兆円を超えているにもかかわらず低金利が続く原因の一つに、個人資産が1500兆円もあるとされる。

●つまり、政府の借金は民間の資産と対照表)の現実が示している。

●この理論から今回の消費税に反対して廃止を訴えたのが、れいわ新撰組の山本太郎氏。

●消費税が始まる前は、所得税と法人税、そして物品税だったのが、30年前に消費税が導入されてどうなったかといふ。●高所得者や大企業の法人税はほとんど税率が安くなってきた。その尻ぬぐいで消費税が上がり、社会保障には一部しか使われてこなかった。

●失われた30年の真実は、消費税を増税した結果、消費が減り、企業の売り上げが減り、雇用が縮小してきたデフレ経済だった。

●だから国民から罰金のようにお金を奪う消費税ではなく赤字国債を発行して政府支出を増やし、貧困と格差を是正すべき。

各地本だより

埼玉本

ようやく秋の気配が感じられる陽気となってきましたが、このところ毎週のようにやってくる台風が各地で大変な被害を出してあります。関東でも千葉を中心に台風15号による甚大な被害が出ており、この度被災された方々には謹んでお見舞い申し上げます。

さて、夏の参院選で与党は改選議席の過半数を超えたものの、維新を含めた改選勢力は憲法改正の発議に必要な三分の二には届きませんでした。しかしながら、安倍首相は改憲に向けた議論を積み重ねていく構えです。

一方野党は、立憲・国民・社保などが統一会派を結成することで第2次安倍政権発足後では最大の野党会派となり、次期衆院選での共闘に向け結束を図る狙いもある。だが、対与党への対決姿勢を強めています。

米中の貿易摩擦、韓国との対立、消費税増税、社会保障制度など、国内外の山積する問題により経済や国

民生活の不透明感が増すばかりですが、立憲を主体とした野党には是非とも安倍政権の暴走を食い止め、われわれが安心して暮らせる社会にしていきたいと考えています。

最後に労働状況ですが、今年は各事業所ともお盆休みが長い傾向があり8月は落ち着いた状況でしたが、9月になってかなり需要が伸びてきました。ここ最近順調に新規組合員の加入があり少し安心していましたが未供給となる日も度々出てきており、引き続き加入促進に力を入れなければと考えております。

関西本

近年は集中豪雨や大阪北部地震、更に2年連続しての9月の台風上陸で列島は台風の猛威を受けた。昨年は近畿地方、今年も千葉は甚大な被害が発生した。これも地球温暖化の影響か、近海に来るまでに勢力が非常に大きくなっており、台風上陸の備えが必須である。

その被災した千葉県への政府の対応は第4次安倍内閣再改造の真つ最中で、政府の初動対策の遅れや千葉県政の対応の遅れによって1ヶ月に及ぶ不自由な生活が続いている。筆生も昨年の台風で1週間であるが停電の不自由を体験した。自宅周辺の独居高齢者宅へドローン配布や片付けで慌ただしく体験してこそ不自由さを実感した。改めて被災された人達の復興とお見舞いを申しあげます。

滋賀本

この9月23日、ニューヨークで国連気候行動サミットが開かれた。若者代表としてサミットに招かれたスウェーデンの環境活動家グレタ・トゥーンベリさんは、各国の代表や首脳に厳しい言葉で環境問題を訴えた。特に「パリ協定」から一方的に離脱したトランプ大統領には厳しい目を向けていたのは印象的だった。

日本も他人ごとではない。この数年で農産物や海産物の収穫地や漁場に異変が起きている。気象情報でも近年は次々と雨雲が発生する「線状降水帯」など、聞きなれない言葉が出てきている。また、台風の発生頻度も増え大型化し、真夏の気温も過去の最高気温を更新するなど温暖化が進んでいると思わざるを得ないだろう。このまま進行すれば今世紀末には海面が1メートル近く上昇するとIPCC(気候変動に関する政府間パネル)は予測している。これからは、経済

東京本

暑さ寒さも彼岸までとの格言、言い伝えも消し飛ばすかのよう

遊に興じた。こうした国民無視、対米隷属の政治姿勢に改めて満腔の怒りをぶつけた。

協力要請を徹底、4月からタブレットで始めた行政区との作業員組合員の派遣契約、ロマン交通の東京福祉交通の廃業に伴う業務継承拡大、沖繩戦艦慰霊の日と辺野古新基地建設阻止行動への参加から広島・長崎・根室行動と続く一連の連合平和行動への延べ22名の組織参加、夏の参議院選挙では私鉄総連出身のりやたかし候補を応援して当選勝利、青年部活動の活性化の一方で、特対部集会の定例開催と70歳以上で無就労の組合員を主な対象とした「特別選別金」の実施など。

今年60周年を迎えた東京地本では、過去にはない多くの活動に取り組んできた。具体的に列挙すると、現在の供給先の9割を占める清掃事業所で、1年の有期供給契約者を主とする職場集会の毎月開催、統一自治体選挙で20数人を推薦すると共に今までにない具体的な取り組みとして組合員一人ひとりに乗降防止と

そのような中、10月27日に新運転・関西地本第59回定期大会が開催される。前述した通り、人員不足の解消に向けた議論と、労働者供給事業法案の成立、非正規労働者の組織化と供給事業の拡充を運動方針に盛り込み、大会議案書作りに四苦八苦している次第。

9月末の第23回定期大会では、組合員加入促進と労働者供給に加えて労働環境、賃金、人員確保など、今後の取組強化を議論できればと思っております。

書記長 田中 浩

執行委員長 折井洋之

執行委員長 太田武二

二度目のロシア

河合 明博 (元新運別委員長)

となく親しみを持ってもらえる。日常使う訳でも無いのに、私の脳が70年余、ロシア語のカタコトを記憶してくれているのには感謝している、とともに、今回の旅でも、何回か使った。

△ハバロフスクの印象▽
ハバロフスクはウラジオより大きく、一段とモダンな印象を与える。だが、それでも、大都市では無く、中間都市と言う感じだろうか。2回目だからでは無いが、主目的がウラジオだったこと、アムール川遊覧が余り面白くなかったことなど特記することは余りない。

△70年前の記憶▽
私が、ロシア語のカタコトを覚えたのは、敗戦直後。奉天(瀋陽)に最初に進駐して来たのがソ連兵(因みに、ソ連兵は、抑留中に亡くなった人で、身元の分かった人は、母国に改葬されたそう。今は、その後この地で亡くなった人の墓が主体だそうだ。

△充実の4日旅▽
今回の旅行は4日間と海外旅行としては短い方だったが、期待以上に充実した感じで帰ってきた。考えてみると、普通のヨーロッパ旅行では、行き帰りの飛行機だけで2日間かかることが珍しくない。無駄といえは無駄な時間であるのに対して、今回は、夜の移動がシベリア鉄道。旅好きには、充実した過ごし方だったと言える。

△さて、次は?▽
年齢を考えると言われそうだが、次の行き先を考えるのが、旅好きには非常に楽しいことなのである。(2019年5月23日~5月26日 阪急トラベックス)

2019年台風15号・台風17号への対応状況のご報告について (第2報)

全国労働者共済生活協同組合連合会 組織推進部長 原山 元志

1. こくみん共済coop〈全労済〉本部における対応について

2019年9月24日(火)に本部災害対策委員会を開催し、今後の災害対応について協議を行いました。

2. 被災受付見込み

- (1) 台風15号 30,000件
- (2) 台風17号 最大5,000件

3. 現地調査の体制

台風17号の被災状況も鑑み、発災から45日以内での対応完了を目指し、必要な動員計画を策定します。

4. 被災受付後の対応

自然災害共済付帯者へ受付通知を随時発送いたします。

5. 被災受付件数 (2019年9月19日現在)

41,498件

- * 受電率は約98%を維持しております。
- * 上記被災受付件数には、台風15、17号以外も含んでおります。



話しているのではないかと言う反応を呼び、片言で意思疎通につながることもある。ロシアに限らないが、ご当地の言葉で話すと、なんと